

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷲塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2014 April 16

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

NO.37

例会報告

●第2033回例会 平成26年4月16日(水)曇

●4月は雑誌月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 106 名中 出席73名
(95)

出席率76.84% 修正出席率87.88%
(4月2日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー 書評家 大矢 博子氏

・夏目 稔君、田中知克君ゲスト 足立 吉正氏

●バナー披露(福田哲三国際奉仕委員長より)

3780地区 LOYOLA HEIGHTS RC

3780地区 SOUTH TRIANGLE RC

●ニコボックス

「3月8日~3月22日、財団の職業研修チーム委員会の今年度のプロジェクトでフィリピンのケソン市に2週間医療研修チームを連れていきました。現地では21症例もの手術を行って大きな成果を収めてまいりました。」 福田哲三君

「先日の6RC合同ゴルフ会においてベストグロス・ローエストハンディー・そして個人優勝を飾ることができました。歴史あるこのゴルフ会でこの成績を残すことができ大変光栄に思います。」 榎野智之君

「本日ゲストでご来訪頂きました、近々入会予定の足立吉正さんです。宜しくお願ひ致します。」

夏目 稔君、浅野 洋君、田中知克君

| | | |
|-----------|------|------------|
| 本日のニコボックス | 3件 | 13,000円 |
| 累 計 | 187件 | 1,981,000円 |

服部 滋幹事報告

▽当クラブ行事予定

・4月23日(水) 例会終了後、理事会を行います。

・4月30日(水) 規定休日のため休会です。

・5月7日(水) 例会終了後、次年度クラブアッセンブリーを行います。理事、役員、次年度の委員長の方の出席をお願い致します。

・5月17日(土) 5月21日(水)を例会変更致しまして、春の家族会。劇団四季のミュージカル、「美女と野獣」を鑑賞します。

集合 12時30分 新名古屋ミュージカル劇場エントランス。

開演 13時~15時50分(休憩あり)。

例会受付 17時30分~(予定)

ウェスティンナゴヤキャッスル。

※5月21日(水)が例会変更となるため、5月21日(水)のお昼の例会はございません。お返事の無い方は、事務局にご提出ください。

鷲塚貞長会長挨拶

“多機能性幹細胞(俗語で万能細胞)”

スタッフ、スタッフと、自然科学とおよそ縁のない輩が、揣摩臆測で連日大騒ぎ、その上、下半身の話にまで発展させる始末。

政界のプリンスと持ち上げた橋本を、慰安婦発言でこきおろし、100億円単位で、血税を私物化している国賊に比べれば、猪瀬の5000万など可愛いものだが、これまた減多切り。

「今度は晴子かい」と言いたい。

日本の三流マスコミの暴走は、先進諸外国には、何と受け止められているのだろうか。

博士号(学位)を前提とした、研究活動のスタートは、いきなり実験や執筆でなく、「科学論文の書き方」なる、手引書の熟読に始まる。

獣医学の博士号取得の為の、学位論文を例にとれば5章で構成されます。

第1章 緒言では、これより始める研究にかかわるヒストリーを中心に、新事実への挑戦への経緯を記述する。

第2章 材料と方法では、何を使い、どのような方法で研究を進めるかを、具体的に記述する。

第3章 観察では、実験等で得られた所見を、ありのままに記述する。

第4章 観察で得られた所見と、すでに報告されている所見との比較で、自身の研究成果が、いかに従来の知見を越えた、“新事実”であるかを記述し、この章が、論文の真骨頂となる。

第5章 結語では、成果を要約して記述する。

その後に謝辞、引用文献(著者名をアルファベット順に記載し、その番号は引用部位にナンバーで表示)、資料写真など。

博士号の取得には、本論文(学位論文)と並行し、自身がトップネームで、学術誌に投稿し、ペーパーとなった副論文(ネーベン)が、最低10論文は必要になります。

世界の3大科学誌は、ネイチャー、サイエンス、セルですが、このような最高峰の雑誌でなくとも、エディターの要求は熾烈を極め、レベルにあらずと返送、実験のやり直し指示、はては英文が稚拙など、ほとんどボロクソに近い試練を、大なり小なり体験し、研究者は成長するのです。

そして、3回にわたる審査会での質疑応答で、主論文のノイエス（世界的に新知見）が認められると、目出度く“学位記の授与”になります。

晴子さんは、早稲田で上述の関門を通過し、ハーバードで研究活動、そして理研で、ユニットリーダーとしてさらに研鑽、これを若いから未熟と、一言で片づけることができるだろうか。

湯川秀樹がノーベル賞を受賞したのは、42歳の時ですが、授賞の対象になったのは、27歳の時に発表した、中間子に関する論文で、発表より15年経って、理論物理学の進展により、その成果が認められたのです。

科学論文にも、超一流のものになればなるほど、“ひらめき”が、偉業のスタートになることが多いのです。

今回の騒動では、結論であるスタップ細胞の存在に関する論争はほとんどなく、その中地点に攻撃が集中し、厳正な審査をしたはずのネイチャーのエディター、共同研究者、理研の研究指導者などに対する、責任問題の論議がきわめて希薄です。

「スタップ細胞は有ります。複数の人が確認しています」

凜として毅然と答える、若くて可愛いリケジョの涙には、事の是非以前の問題として、応援したくなるのは、おじさん達の本音です。

それにしても、理研の調査委員会の面々の“何と底意地の悪そうなこと”……………。

「STAP細胞は必ず存在する」「晴子、ハーバードに帰っておいで」、15日に来日した、バカンティ教授のことばです。

卓 話

最新・お薦め本



書評家 大 矢 博 子
お薦めの小説を2冊 [時間があればオマケにもう一冊]、紹介します。

▼和田竜『村上海賊の娘』(新潮社)

4月8日に発表になった、今年の本屋大賞受賞作です。作品紹介の前に、本屋大賞についてお話しします。近年、この本屋大賞は俄然注目を集め、メディアでも大きく取り上げられます。受賞作はミリオンを超えるベストセラーになることも多く、受賞作のほとんどが映画化・ドラマ化もされています。

文学賞はいろいろあるのに、なぜ本屋大賞受賞作が営業的に最も成功しているのか。ひとつは、本屋大賞というシステムが持つ強みゆえに、「普段本を読まない人でも楽しめる、間口の広い作品」が受賞すること。もうひとつは、本屋大賞が地域おこしにつながっていることに理由があります。その仕組みとは……………。

『村上海賊の娘』は、戦国時代が舞台の時代小説です。織田信長が大阪の本能寺を攻め、兵糧攻めにしたときのこと。本願寺は親交のあった中国地方の雄・毛利にお米を送って欲しいと頼みます。引き受けた毛利は、大量の米を運ぶために陸路ではなく、海路を使います。そこで瀬戸内に拠点を置く村上水軍の協力を得て、大阪に向かいます。しかし大阪湾では信長配下の真鍋水軍が守りを固めています。ここでの両者の戦い——木津川口の戦いを、村上水軍の姫の目を通して描いた、戦国アクション小説です。海賊ならではの、海上での戦略や作戦など、これまでの時代小説になかった合戦シーンも読みどころです。

▼貫井徳郎『私に似た人』(朝日新聞出版)

出たばかりの新刊です。

現代日本が舞台ですが、この作中では〈社会に対して不満を持つ者が各地で頻繁に小規模テロを起こしている〉という設定になっています。大通りで刃物を振り回したり、車で歩道に突っ込んだりする無差別殺傷が彼らの行うテロ行為です。ただしこれらのテロに直接のつながりはなく、規則性もありません。どこか煽動している人物がいるのではないかと公安は考え、捜査をします。すると捜査線上にある人物が浮かんできて——。

本書は十の短編からなる連作短編集で、主人公もそれぞれ別の人物です。テロに与する者もいれば、自分とは関係ない別世界のことだと考えている人もいます。事態を憂えながらも何ら行動を起こさない人もいます。安定した生活を送っている人もいれば、不安定な雇用に悩む若者もいます。平凡な主婦やOLもいます。この本の特徴は、登場人物の中に必ず、自分に似た人物がいるということ。貧困やワーキングプア、格差、他人への無関心——そういったことを自分がどう考えているか、誰に共感し、誰を否定するかで自分が試される作品です。

| 例会 | 月日 | 今後の予定 |
|--------|-------------|--|
| 第2034回 | 4.23 | 表千家茶道家 宮崎雅史氏 「市井の蔭と茶の道」 |
| | 4.30 | 規定休日のため休会 |
| 第2035回 | 5.7 | 名古屋外語大学学長 亀山郁夫氏 「ドストエフスキー研究と教育」 |
| 第2036回 | 5.14 | 会員 福田哲三国際奉仕委員長 「カンボジア水事業支援プロジェクト」 |
| 第2037回 | 5.17 (土) | 春の家族会のため 新名古屋ミュージカル劇場 12:30~集合 開演13:00~ 15:50(休憩あり) 例会受付17:30(予定)~ ウェスティンナゴヤキャッスル 5/21(水)を例会変更 |
| 第2038回 | 5.28 | 新入会員自己紹介 |

○このウィクリーは再生紙を使用しております。